

当院における医原性血管損傷に対する末梢血管用ステントグラフトVIABAHN内挿術の検討

2017年1月1日から2025年11月25日までに血管損傷に対してステントグラフト(VIABAHN)で治療を受けた患者さん

研究協力のお願い

当科では「当院における医原性血管損傷に対する末梢血管用ステントグラフトVIABAHN内挿術の検討」という研究を倫理委員会の承認並びに施設長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2017年1月1日より2025年11月25日までに東京都済生会中央病院にて、血管損傷に対してステントグラフト（製品名VIABAHN；バイアバーン）によって治療を受けられた患者さんの治療や転帰に関する調査を行う研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：当院における医原性血管損傷に対する末梢血管用ステントグラフトVIABAHN内挿術の検討

研究期間：研究実施許可日～2031年12月31日

研究責任者：東京都済生会中央病院 救急診療科副医長 庄司高裕

(2) 研究の意義、目的について

近年の医療の高度化により避けて通れない医療行為による血管損傷（医原性血管損傷と言います）が増加しております。医原性血管損傷は時に重篤な合併症や機能障害を起こし、致死的な経過をたどる症例も報告されているため、迅速な止血や血行維持など適切な対応が望れます。今回の研究の目的は、当院で経験した医原性血管損傷に対するステントグラフト（製品名VIABAHN；バイアバーン）の使用を検討することで、医原性血管損傷に対するバイアバーンの使用が患者さんにとって有益であるかどうかを検討します。

(3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類)

2017年1月1日より2025年11月25日までに東京都済生会中央病院にて、医原性血管損傷に対する末梢血管用ステントグラフトVIABAHN内挿術を受けられた患者さんの医原性血管損傷に至った経緯、治療内容や転帰などの情報を収集し、ステントグラフトVIABAHNによる治療について調査・検討します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、時間経過、バイタルサイン、治療詳細、転帰など

追跡調査：予定はありません。退院後に当院を受診された場合は、本研究に該当するカルテを参照する場合があります。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイドンス」に則り、個人情報の保護に努めます。また、研究対象者等からの求めに応じて研究対象者が識別される試料・情報の利用を速やかに停止します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表予定です。

(6) 問い合わせ等の連絡先

東京都済生会中央病院 救急診療科 庄司高裕

〒108-0073 東京都港区三田1-4-17

電話番号：03-3451-8211(代表)